

英語 II	1 年・後期	2 単位	講師 牧田 義也
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310221

1. 授業のねらい・概要

英語を用いてコミュニケーションする能力を身につけ、さまざまな場面で自分の意見を積極的に伝達する技術を習得し、異なる背景をもつ人々との相互理解を深める方法を学ぶことで、多様な価値観に開かれた人間性を育むことを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 英語を用いてコミュニケーションする能力を身につける。
2. 英語の語彙・発音・文法を学び、会話を行うための基礎的な能力を養う。
3. 英語を用いて専門的な知識を学び、情報を発信するための基礎を培う。

3. 授業の進め方

授業ではまず語彙・発音・文法を学び、英語を用いてコミュニケーションを行うための基盤を作る。また、リスニング・スピーキングを反復しながら、さまざまな場面を想定したロールプレイを行い、実践的なコミュニケーション能力を培う。さらに、専門的な学習につながるリーディングの基礎的な訓練を行う。

4. 授業計画（講義）

1. ガイダンス	9. 行き先を説明する
2. 質問を重ねる	10. 価格について説明する
3. 順序を説明する	11. 価格を交渉する
4. 進行中の行動を説明する	12. 頻度について説明する
5. 住居について説明する	13. 特徴を叙述する
6. 示唆を与える	14. 量について説明する
7. 場所を説明する	15. 総括
8. 中間試験	

5. 成績評価の方法・基準

中間試験 20%，期末試験 40%，課題 20%，積極的な授業参加 20%

6. テキスト・参考文献

テキスト：Jack C. Richards and David Bohlke, *Speak Now 1* (New York: Oxford University Press, 2012).

参考文献：授業中に適宜伝える

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

初回の授業で配布された詳細日程表に基づいて、次の講義で学習する範囲を予習してくる。授業後は個人および複数名で、学習した会話の練習を反復すること。これらの予習・復習には 90～120 分程度を要する。

8. 受講上の留意事項

授業には、英和・和英辞書（電子辞書を含む）を持参すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

筆記試験は採点のうえ返却する。口頭試問については講評を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。